

スマートフォン等によるネットトラブルの未然防止について

根室管内地域いじめ問題等対策連絡協議会

ネットトラブルとは

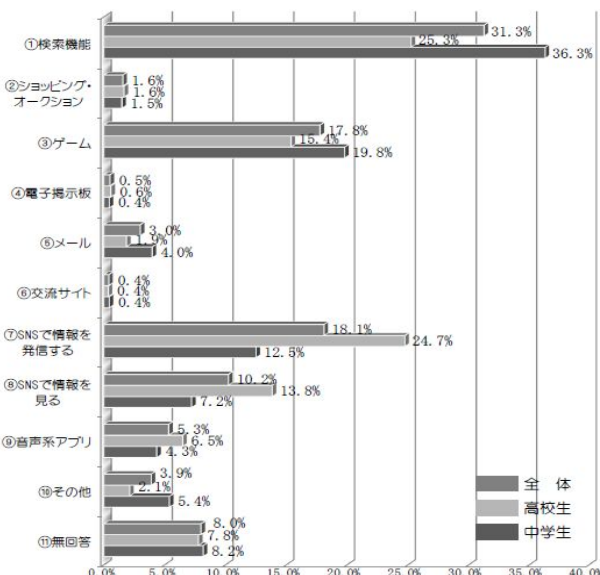
近年、次のようなネットトラブルが発生し、中・高校生が犯罪に巻き込まれる被害はもとより、加害者となるケースもあり、その一つの要因として、スマートフォンをはじめとする情報端末機器の普及が考えられます。

- 書き込みやメールでの誹謗中傷
- ウイルスの侵入や個人情報の流出
- ショッピングサイトなどからの思いがけない代金請求や詐欺
- 著作権法などの違反
- 誘い出しによる性的被害や暴力行為
- ソーシャルゲームなどの中毒性をもたらす悪影響
- 犯行予告など

中学生・高校生のインターネットの利用状況

平成 26 年に道教委が実施した「中学生・高校生のインターネット利用実態調査」の結果からは、生徒が携帯電話やスマートフォン及びパソコンなどの情報通信機器を利用して、インターネットを長時間使用しており、一部には依存傾向も見られるという実態が明らかになり、学力や健康面、対人関係等への負の影響が強く懸念されるところです。また、最も利用するネットの機能として、検索機能、SNSでの情報発信、ゲームなどがあげられています。これらの機能の利用にかかわっては、ウイルスの感染や不正アプリのインストールによる個人情報の流出のほか、書き込みによる誹謗中傷など、被害者のみならず加害者となる事例が発生しています。

最も利用するネットの機能

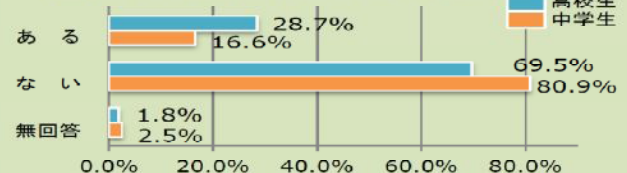


○インターネットで利用する機能

- ・中学生・高校生全体で、「検索機能」が最も多く31.3%
- ・高校生では、「検索機能」が25.3%で最も多く、次に「SNSで情報を発信する」が24.7%
- ・中学生では、「検索機能」が36.3%で最も多く、次に「ゲーム」が19.8%

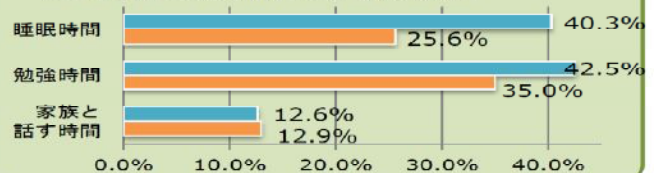
【ネット利用の依存の意識】

自分はネット依存だと思うことがある



【ネット利用による犠牲】

ネット利用により犠牲にしている時間



○インターネットの利用頻度

- ・高校生の74.5%、中学生の56.0%が「ほぼ毎日」インターネットを利用

○インターネットの利用時間

- ・中学生、高校生の53.9%が1日に2時間以上インターネットを利用

○インターネット利用の依存の意識

- ・高校生の約3割がネット依存だと思うことがある

○インターネット利用による犠牲

- ・中学生の約3割、高校生の約4割が、ネット利用により、睡眠時間や勉強時間を犠牲にしている

スマートフォン等を適切に使用するために

児童生徒がネットトラブルに巻き込まれることなく、家庭学習や睡眠の時間を確保し、望ましい人間関係を構築しながら、スマートフォン等を適切に使用することができるよう次のことに留意する必要があります。

児童生徒に指導する事項

学校や家庭では、次のことを指導しましょう。

○ 学校や家庭におけるスマートフォン等の使用についてのルールを守る。

・学校や家庭で定めたルールを守る。

○ 自分がされていやなことは、人にもしない。

・人の悪口や周りの人に迷惑をかけるような冗談、噂は絶対に書き込まない
・SNSを使って、仲間はずれにしない など

○ 困ったことは家族や先生に相談する。

・一人で悩まずに、困ったことはすぐに家族や先生に相談する。

学校が取り組む事項

学校では、児童生徒や地域の実態等を踏まえ、次のことに取り組みましょう。

○ アプリの使い方や危険性について理解を深めた上で、情報モラル教育の充実を図る。

・それぞれの教員が、スマートフォン等の適切な使用について指導できるよう、その操作やアプリの特徴などについての理解を深めるとともに、学校においては、使用者の情報が漏えいする危険性の有無等について、全教育活動を通じて指導する。
・北海道警察サイバー犯罪対策課「サイバー安全標語『ありのおしらせ』」を活用する。

○ スマートフォン等の使用についてのルールを定める。

・学校内に持ち込まない、登校後は担任に預ける、校内では電源を切るなどのルールを定める。

○ 生徒会で話し合うなどして、スマートフォン等の使用ルールをつくる。

・午後10時以降はSNSや無料通話アプリの利用を控える
・学習以外の目的によるスマートフォン等の1日の使用時間を〇時間以内とする など

○ 保護者への啓発活動を推進する。

・PTAと連携し、保護者対象の研修会等を開催する。

○ 学校評価等を活用した検証改善サイクルを構築する。

・取組に関する評価項目を設定し、不断の改善に努める。

家庭が取り組む事項

家庭では、子どもとよく話し合い、次のことに取り組みましょう。

○ フィルタリングを設定する。

・スマートフォン等の購入時に必ずフィルタリングを設定し、購入後は解除しない。

○ 家庭におけるスマートフォン等の使用に関するルールを定める。

・午後10時以降はSNSや無料通話アプリを利用しない
・食事中や会話中はスマートフォン等は使用しない
・アプリの中には、使用者の情報を自動的に教えてしまうものがあることに留意する など

○ 子どもの使用状況を把握する。

・使用時間や閲覧サイト、使用アプリを把握する。

○ 困った時は、すぐに相談するよう伝える。

・家族に相談しやすい雰囲気づくりを心がける。